

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		須屋浄化センター及び関連ポンプ場維持管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連			
総合 計画 体系	政策	2	緑豊かな環境共生するまちづくり		所属部	水道局	課長名 久留 伸二			
	施策	10	水環境の保全		所属課	上下水道課	担当者名 大塚 裕貴			
	基本事業	28	水質の浄化		所属班	管理工務班	(内線) 1177			
予算科目		会計 50	款 1	項 1	目 3	事業連番 -	法令根拠	下水道法、水質汚濁防止法	成果優先度評価結果	4
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 s56 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		コスト削減優先度評価結果	2	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	須屋浄化センター及びマンホールポンプ場の適正な維持管理運営である。 ・消耗品、医薬材料、原材料、燃料の適宜購入事務 ・維持管理確認事務 ・法定検査対応事務 ・維持管理運転に係る補修対応事務
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	旧西合志町での公共下水道計画により、昭和54、55年に浄化センター及びポンプ場が建設され、昭和56年供用開始により始まった。供用開始より28年ほど経過し老朽化が見受けられる為、5年前と比較すると補修箇所が多少増えてきている。
【業務の流れ】	①故障報告受付事務 ②現地調査(緊急であるかの判断) ③補修工事契約事務 ④現地打合せ ⑤竣工検査事務 ⑥支払事務
【主な予算費目】	需用費(消耗品費、光熱水費、施設修繕費、燃料費、印刷製本費、医薬材料費)、役務費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、原材料費、負担金及び交付金
【意見や要望】	・維持管理費の削減のため、市外処理場(北部流域下水道)への流入変更
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 浄化センター・ポンプ場の保守、点検の委託 浄化センター・ポンプ場の補修等 優先度を把握し、的確な修繕を行う。	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 浄化センター・ポンプ場の保守、点検の委託 浄化センター・ポンプ場の補修等 優先度を把握し、的確な修繕を行う。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 保守点検、委託の件数	件
	イ 補修件数
	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 終末処理場、マンホールポンプ場	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
	⇒ ア 浄化センターの箇所数
	イ マンホールポンプ場の箇所数
	箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設の維持管理に支障無く稼働できる	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
	⇒ ア 不具合やトラブルの発生率(件数)
	イ 不具合やトラブルへの対応率
	件
	%
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 下水道機能維持のために、不具合やトラブルの発生を点検等により未然に防ぎ、不慮の発生時には的確な対応にて管理する。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア	件	11	9	9	10	9	9	9	
	イ	件	21	8		14				
⑤ 対象指標	ア	箇所	1	1	1	1	1	1	1	
	イ	箇所	6	6	6	6	6	6	6	
⑥ 成果指標	ア	件	21	8		14				
	イ	%	100	100	100	100	100	100	100	
投資 入 費 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	121,898	111,947	135,212	112,295	113,891	114,000	114,000
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	(A) 事業費計		千円	121,898	111,947	135,212	112,295	113,891	114,000	114,000
	(A)のうち指定経費		千円							
	(A)のうち時間外、特勤		千円							
	人件 費	正規職員従事人数	人	7	7	7	7	7	7	7
延べ業務時間		時間	900	900	900	900	900	900	900	
(B)人件費計		千円	3,573	3,600	3,582	3,582	3,582	3,582	3,582	
トータルコスト(A)+(B)		千円	125,471	115,547	138,794	115,877	117,473	117,582	117,582	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0

合志市

事務事業名	須屋浄化センター及び関連ポンプ場維持管理事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	------------------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

緊急を要する修繕等、急な故障にも適切に対応でき下水道の維持に支障なく管理できた。  
特殊な設備が多いため、故障の件数減少のためにも専門業者による点検範囲を再度検討したい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止     休止     目的再設定     事業統廃合・連携     事業のやり方改善(有効性改善)  
 事業のやり方改善(効率性改善)     事業のやり方改善(公平性改善)  
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

施設の老朽化により各設備の補修が増えている為、年次毎の計画的な改築更新を実施する。